金峰町宮崎の田の神

【所　在　地】南さつま市金峰町宮崎山の上 50
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 41 年３月 11 日

　像の高さ 72cm，粗い白質岩の丸彫りの立像で頭巾風のシキをかぶり長衣の袖は長く，長袴をつけている。右手にメシゲ，左手に先がカギ状の鍬をもっている。両袖の外側に各一行「奉供養庚申敬白　享保十七壬子年二月九日」と刻んであり，この田の神像が庚申供養のために造立されたことは明らかであるが，この像の立っている宮崎の水田は像が作られる数年前に開田されていることから，この水田の守護のために造立されたことはいうまでもない。享保 17（1732）年造立。僧衣立像メシゲ鍬持ち型の田の神の典型である。